薬害エイズ ミュージカルに

訴訟和解20年 ハリウッドで上演中

輸入血液製剤でエイズウイルス（ＨＩＶ）に日本の血友病患者らが感染した薬害エイズ事件をテーマにしたミュージカル「ＢＬＯＯＤ」が、米ハリウッドで17日まで上演中だ。今年は薬害訴訟の和解から20年になる。日本人を中心とした俳優たちが演じている。

演出は米国人ロバート・アラン・アッカーマン氏。日本の事件を元に深刻なテーマをパロディー化し、笑いと涙を交えた作品に仕上げた。ＨＩＶが混入した米国の輸入血液製剤を投与された血友病患者が亡くなっていく。感染した少年が勇気を持って実名で事件を告発し、最後に国が謝罪するという筋書きだ。

舞台「ＢＬＯＯＤ」の一シーン＝エド・クリーガー氏提供

アッカーマンさんは、事件が問題となっていた１９８０年代、この問題を日本で映画化するつもりで脚本を書いたが、実現しなかった。今回、眠っていた脚本を舞台用に書き換え、米国で上演したという。

少年のモデルは、参議院議員の川田龍平さんだ。19歳で薬害エイズ被害者として実名を公表し、国と製薬企業を相手に裁判で闘った。

（ロサンゼルス＝平山亜理）

© 朝日新聞社　無断複製転載を禁じます。
すべての内容は日本の著作権法並びに国際条約により保護されています。